小学5・6年生レヴェル国語文章読解問題 1B　02

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

「ここよ、見つけたイタリアンレストラン」

そう言うと母はドアを開けた。その瞬間トマトソースの香りが漂ってくる。この感じだと今回はどうやら大丈夫らしい・・・大丈夫というのは普通においしく食べられそうという意味である。

母が見つける食べ物屋さんには［ア］がある。地元で採れた野菜を使用とか、健康的に育てた牛や豚の肉を使った料理とか、要するに良い素材でカラダに良い食べ物を出していると思われるところなのだ。

でも、これまでの外食で「おいしい」と感じたことはほとんど無い。カラダに良いものという発想はいいのかもしれないけれど、おいしいことの方が大事じゃないかと思う。こうした食べ物屋さん達の考え方は違うのだろうか。

いや、母と一緒に行く食べ物屋は、この良い素材だからカラダに良いとする料理を本気でおいしいものとしてお客さんに出しているのかもしれない。そしてお客さんもそうしたお店のファンだから、おいしいと思い込んでいるのかもしれない。

そんなことを考えながら、初めてきたこのイタリアンで、私たちはランチセットAを注文した。サラダとスープにトマト系ソースのパスタがついたセット。どこのお店にもありそうなセットメニューだし、これなら大きくはずすようなことはないはず。

やがてサラダとスープが先に運ばれてきて、母と私は食べ始める。

「うん、いいわね、ルッコラの味がして。スープも濃すぎなくておいしいし」

母はそう言ったが、私にはすぐにわかった。ルッコラとオニオン、イタリアンパセリのサラダは、塩とオリーブオイルをかけただけで、味らしいものはしない。テーブルにドレッシングもないからこのまま食べるしかないが、おそらく素材の味を活かしていると言いたいのだろう。スープはこのお店が牛骨やスネ肉などを煮込んで作っているとは到底思えない。［イ］この味は我が家のキッチンに置いてある「五種の野菜と牛骨エキスの自然素材スープの素お得用」と全く同じ味だからだ。でも私はだまってこれらを食べる。

そして運ばれてきたトマトソースのパスタは・・・ああやっぱりそうきたか。トマトソースに味がついていない。いや塩味は少しついているが、おそらくオリーブオイルと塩だけ。ニンニクも入っていないし、ベーコンのような味もしない。ただトマトの味がするだけのパスタ。

「いいわね、トマトパスタも。おいしいわね」

ウ「うん、おいしい」

私はそう言って、少し微笑んだだけで大きく表情を変えることなくトマトパスタを食べる。エこのお店と母の考え方はおそらく一致している。それを私が崩すことは今はしない方がいい気がする。これをおいしいと言っておけば、母は満足なのだから。

食後のコーヒーもついてきたが、意外にもこれは香り高くて酸味の少ない私好みの味だった。

（縞井　一樹「ねむとクロの森」より）

問一　［ア］　には、同じようなこと　という意味の三文字の熟語が入ります。次の枠に合うように、漢字二文字を書きなさい。

［　　］
［　　］
［　点　］

問二　［イ］　に入れるのに最も適している言葉を、次の選択肢から選びなさい。

1　だから　　2　なぜなら　　3　しかし　　4　つまり　　5　このように

問三　傍線部　ウ　うん、おいしい　と言っている時の私の心情（心の動き）はどれか。選択肢から最も適しているものを選びなさい。

1　母に表面上同意はしたが、これらの料理をおいしいとは思えず、だからと言って不満を言って場の雰囲気を壊したくは無いとも思っている。

2　お店には他のお客さんもいるのでそう答えるしか無いが、帰り際に他のお客さんからは聞こえないように注意しながらもお店の人に苦情を言おうと思っている。

3　いつもの外食のパターンで不満もあるが、健康に気を使って母が店を選んでいることを知っているので、考え方に共感したいとも思っている。

4　しっかり作っているとは思えないこれらの料理にはかなりの不満もあるので、味わうことなく早く食べ終えてコーヒーを飲みたいと思っている。

5　スープがこの店が独自に作っているのではないことに気がつきもしない母の味覚に呆れてはいるが、ここで不満を言って喧嘩にしたくないとも思っている。

問四　傍線部　エ　このお店と母の考え方はおそらく一致している　とありますが、どのような考え方のことですか。三十字程度で抜き出して、次の文言にうまくつなげなさい。

［　　］
［　　］
［　だと思っていること。　］